

であう つながる いのち ちがいがおいなす豊かな未来

いま、「協同」が創る 2019 全国集会 in Kanagawa

午前合同基調
午後 移動分科会
となります

第9分科会

共に生きる社会づくりへ～一人と人、人と自然のかかわり～

横浜の地産地消と出会う

横浜は大都市のイメージですが、意外にも野菜、果樹、花等多くの農畜産物が生産され、小松菜は全国市町村1位（平成18年度）。主に市内の直売所を中心に販売されています。そうした土地柄から生まれた協同組合間協同による横浜の食材を使用した弁当作りや、都市農業の現場から、地産地消と食の安全・安心について考えます。

- 日時 2019年11月30日（土）9時30分より
- 会場 神奈川大学横浜キャンパス（AM）
オーガスタミルクファーム（相澤良牧場）他（PM）
- 参加費 2,000円（昼食代、バス代 全体の参加費別途）
- 定員 45名
- スケジュール

9:30～11:30 第5～9分科会共通基調（神奈川大学横浜キャンパス）

※グローバルゼーションに対抗する、自然や人間が共に在るための、新たな社会とは。“自然”や“農”が育む“人と人”のつながりとは何か。また埼玉での“農”、“農福連携”をはじめとする活動から、これからの社会の在り方を学びます。

講師① 辻信一 明治大学国際学部教授

講師② 新井利昌 埼玉興福株式会社代表取締役

コメンテーター 香川秀太 青山学院大学社会情報学部准教授

11:40～（バス移動）

12:25～JA 横浜みなみ総合センター

※昼食はワーカーズコープ・キュービックのこだわり地産地消弁当！

※生活クラブ生協「みんなの農園」について事例報告します。

※JA 横浜「ハマッ子直売所みなみ店」を視察します。

13:30～（バス移動）

14:00～オーガスタミルクファーム（相澤良牧場）

※住宅化が進む横浜市内にあり、清潔で牛舎独特の臭いも気にならない、都市型農業の見本と言えるような牧場です。JA 横浜の組合員で牧場の代表取締役・相澤広司さんから、牧場の内容・特徴、都市部での酪農経営の有利な点・苦勞する点、JA・他の農家・地元レストラン等との地域内の連携による横浜産牛乳のブランド化・高付加価値化について説明していただきます。

15:00～（バス移動 15:10 横浜市営地下鉄立場駅、15:50 頃桜木町着予定）



イメージ：横浜市HPより

●お申し込み

HP <https://kyodo-net.roukyou.gr.jp/2019/> より お申し込み下さい。

●お問い合わせ

いま、「協同」が創る 2019 全国集会 in Kanagawa 実行委員会

事務局：ワーカーズコープ・センター事業団神奈川事業本部

TEL：045-341-4192 FAX：045-260-5558 E-mail kyodo2019@roukyou.gr.jp

